

北海道社会福祉士会 スーパーバイザー プロフィール

ふりがな 氏 名	たかはた よみこ 高畑 訓子
所属支部	北海道社会福祉士会（十勝地区支会B）
☐ 第1号 認定上級社会福祉士 ☐ 第2号 認定社会福祉士の更新者 ☐ 第3号 認定上級社会福祉士に準じる者 ☒ 第4号（1） 社会福祉士 ☒ 第4号（2） 施設機関等において職員のスーパービジョンを担当している者 ☐ 第4号（3） 教員等でスーパーバイザーとして豊富な経験と実績のある者	

【職務等経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

S56.4～H4.3 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘 生活指導員、後に介護主任兼務
H4.4～H8.3 特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘 総務主任
H12.4～H17.3 身体障害者療護施設屈足わかふじ園 生活課長
H17.4～現在 聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘、特養新得やすらぎ荘、地域特養新得やすらぎ荘等施設長

【職能団体等における活動経験】 ※時系列に明確・簡潔に記入ください

S51～H5 手話サークル、全国手話通訳問題研究会
H5～H15 日本手話通訳士協会
H9～現在 日本社会福祉士会

【最終学歴】

S56年 北星学園大学文学部社会福祉学科卒業

【資格・特技等】

社会福祉士、手話通訳士、介護支援専門員、介護福祉士、認知症介護指導者

【ソーシャルワーク実践において大切にしていること】

一人一人の人権を尊重し、その想いに寄り添いながらスーパーバイザーが主体的に自己決定ができるように支援していく事を大切にに関わりたいと考えている。

【スーパービジョンの経験】 ※直近の経験から記載してください。

当法人内の生活相談員や中堅職員等に対して、相談援助に関する事、職員間および関係部署や関係機関との合意形成及び連携等について実施してきた。

【スーパーバイザーへの一言】

スーパーバイザーの想いを受け止めながら、スーパーバイザーのもっているストレングスが引き出せるように努め、面接後には、スーパーバイザーが、心が軽くなり、前向きに物事に取り組めるような気持ちを持ってもらえるような関わりを大切にしたいと考えています。

【条件】

① 活動地域について

同支部内

同支部以外

その他（

3

② 受け入れ可能人数について

1~2

名 可能

③ その他 (セッション可能曜日、時間帯、バイザーへの連絡方法などの条件について、出来るだけ詳しく記載ください)

- ・セッション可能曜日 曜日日時は、バイジーと相談の上決めていく。
出張や会議が多いため、曜日を固定することは難しいが、バイジーに合わせることも。
- ・時間帯 双方の予定があれば、日中、夜間共に可能。
- ・バイザーの連絡方法は、携帯番号等の交換、または職場への連絡でも可能。
- ・開催場所は、バイザーが勤務している職場の相談室等を利用する。